

ASEAN+3 留学生の学修履歴のための成績証明書及び補足資料に関するガイドライン

1. ビジョン

ASEAN+3 加盟国は、次世代のための、質の保証を伴った学生交流や高等教育のバランスの取れた流動性の促進を通じた、地域内の相互理解、平和、そして持続可能な開発の達成を切望している。

2. はじめに

『ASEAN+3 留学生の学修履歴のための成績証明書及び補足資料に関するガイドライン（以下、「ガイドライン」）』は、ASEAN+3 加盟国内でのバランスの取れた質保証を伴った学生交流の促進のために設計されたプログラム（以下、「プログラム」）の下で学習する交換留学生の「成績証明書及び（または）補足資料（以下、「成績証明書等」）」において提供されるべき情報を提言することを目的としている。

本ガイドラインの策定は、高等教育の流動性・質保証ワーキンググループの更なる成果として、第3回ASEAN+3教育大臣会合で承認された、『ASEAN+3 学生交流と流動性に関するガイドライン』において提案された。

本ガイドラインでは、一般的に1学年未満の期間で履修単位を取得することを目的として海外の大学で学んでいる学生を「交換留学生」と定義している。本ガイドラインに拘束力はないが、各国においては、本ガイドラインの利用を促進するために可能な支援方法を模索することが奨励されている。

3. 目標と期待される成果

派遣先大学は、すべての交換留学生に対して速やかに成績証明書等を提出しなければならない。派遣先大学は、ガイドライン次の点に留意して、本ガイドラインの“4 成績証明書等への記載が推奨される情報と、成績証明書及び補足資料の説明”に従って成績証明書等を発行するよう奨励されている。

- ・成績証明書等は、派遣先大学における学生の学習経験に関する、関係性と透明性の高い情報を提供するものであること。
- ・成績証明書等は、派遣元大学での学生の学修履歴の認証と可能な単位互換の認定をより速やかに行うことを可能にするものであること。
- ・その際、成績証明書等は、学生が公平に評価され、海外での学修履歴が認証されることを可能にするとともに、不合理な単位損失から学生を守ることができるものであること。これは、将来の交換留学生の意思決定にも寄与する。

これらの目的のために、派遣先大学は以下の項目を成績証明書等を含め、コース/科目内容の透明性と質を保証することが奨励される。

4. 成績証明書等への記載が推奨される情報と、成績証明書及び補足資料の説明

成績証明書等は、補足資料も含め、英語で書かれているか、派遣先大学と派遣元大学との間で合意された言語で書かれていることが望ましい。これらには以下の情報が含まれていることが望ましいが、内容は派遣先国の状況に応じて変更可能である。関連情報が含まれているシラバスを添付することで、他の書類の代替とすることも可能である。

番号	成績証明書等への記載が推奨される情報	項目の説明
セクション 1: 成績証明書等所持者についての情報		
1.1	氏名	学生本人の正式な姓及び名（パスポート、身分証明書等に記載されている氏名）を記載する。
1.2	誕生日	生年月日を記載する。
1.3	学生の教育段階	学部生・大学院生の別といった教育段階を記載する。
1.4	派遣元大学名及び国名	当該学生の派遣元大学の大学名及び所在国を記載する。
セクション 2: 派遣先大学での学習プログラムについての情報		
2.1	派遣先大学名及び国名	派遣先大学の大学名及び所在国を記載する。
2.2	派遣先の学部・学科・専攻名	派遣先の学部・学科・専攻名を記載する。
2.3	派遣先大学での学籍番号	学籍番号を記載する。これは派遣先大学で特定のプログラムを履修している学生個人を特定するものである。
2.4	履修プログラム名	履修プログラムの正式名称を記載する。履修プログラムが大学間協定等に基づくものであれば、その協定等の名称も記載する。
2.5	プログラムの期間	プログラムの公式な履修期間（何週間あるいは何ヵ月という単位）を記載する。これは、プログラムの開始日時及び終了日時を、中間に休暇がある場合はその情報も含めて、示すことで対応できる。
2.6	講義での使用言語	プログラムで使用され、学生評価に利用された言語を記載する。
セクション 3: 内容と得られた成果に関する情報		
3.1	コース名／科目名	学期編成に関する情報と共に、履修したコース名／科目名を記載する。

3.2	コース／科目の種類	履修したコース／科目の種類（講義、実習、フィールドワーク等）を記載する。
3.3	成績	プログラムの各コース／科目で（学生が）実際に得た成績のリストを記載する。該当する場合は、コース／科目が必修・選択のどちらであるのかを明記する。
3.4	単位数	コース／科目の履修により取得できる単位数を記載する。
セクション4. 単位制度と成績評価の方法		
4.1	学修量（該当する場合）	教室での授業時間数と、宿題、試験の準備、レポートの作成など、学生が教室外で費やす自習時間数の合計時間を学修量として記載する。 ※関連する国の規則がある場合は、それについても言及する。
4.2	授業時間数（実習・実験等を含む）	学生が授業に出席する時間などの、正確な授業時間数を記載する。リーディング・ウィーク（試験準備期間）と期末試験週の学習時間は除外する。 ※関連する国の規則がある場合は、それについても言及する。
4.3	成績評価の方法と合格/不合格の明確な基準	成績評価の方法と合格／不合格に関する情報を記載する。例えば、それぞれの成績が100点満点の場合どの程度の点数に該当するか、及び合格のための最低条件（例えば50点）等を記載する。
4.4	単位互換制度（該当する場合）	AUN-ACTS、UCTS、ECTSなどの国際単位互換制度を活用している場合は明記する。
4.5	その他の関連情報	単位制度や成績評価の方法に関する特記事項（評定の意味や、絶対評価制度か相対評価制度かについてなど）
セクション5. 補足情報（該当する場合）		
5.1	学習成果	学生がコース／科目を通じて達成した学習成果を記載する。シラバスなどに学習成果に関する情報が含まれている場合（強く推奨）は、この項目を省略できる。
5.2	インターンシップの経験	該当する場合（大学に情報がある場合）は、組織名、種類、期間、活動頻度を記載する。
5.3	奨学金	該当する場合（大学に情報がある場合）は、奨学金の名称と寄付者/創設者を記載する。

5.4	派遣先大学の種類	国立、私立といった大学の種類について記載する。
5.5	派遣先大学の認証評価状況に関する情報	最新の認証評価の年/月と、それを担当した認証評価機関の名称を記載する。
5.6	その他の関連情報	キャンパス情報、学位の授与、学生の語学能力など、記載できる追加情報があれば記載する。
セクション 6: 成績証明書が正式なものであることの証明		
6.1	日付	成績証明書が発行された日付を記載する。この日付は学習プログラムが終了した日と同じである必要はない。
6.2	署名	学籍担当職員、学部長、事務局長など、成績証明書を証明する担当者の氏名を記載し、署名する。
6.3	公印	成績証明書が本物であることを証明するための派遣先大学の公印を押印する。
6.4	連絡先	派遣先大学の連絡先を記載する。
補足		
派遣先大学で受講するコース/科目のシラバスを添付することを強く推奨する。紙の文書又は(ウェブサイトの)リンクのどちらでも構わない。 シラバスの情報は、コース/科目の責任者が作成した書簡など、他の手段で補完することができる。		

参考文献

- UNESCO (1997), Diploma Supplement.
- Malaysian Qualification Agency (2007), GUIDELINES: Malaysian Qualification Statement (MQS),
- ASEAN University Network, ASEAN University Network Student Mobility Transcript of Record

参考1：単位互換制度の換算表

単位互換制度には、ASEAN 単位互換制度 (AUN-ACTS: Asian Credit Transfer System by ASEAN University Network)、UMAP 単位互換方式 (UCTS: UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific) Credit Transfer Scheme)、欧州単位互換制度 (ECTS: European Credit Transfer and Accumulation System)、ラテンアメリカ単位証明制度 (CLAR :Latin American Reference Credit)、単位累積互換方式 (CATS :Credit for Accumulation and Transfer Scheme)、など様々な種類がある。

加えて、アジア単位互換枠組 (ACTFA : Academic Credit Transfer Framework for Asia)のように、既存のシステムの間で適用できるような単位互換枠組も開発中である。下記の互換表は、これらの異なった単位互換制度の比較の際の参考として有用である。

国・地域と制度	【アジア(ACCs*1) ACD-ACTS, AUN-ACTS *2, UCTS	【米国】	【ヨーロッパ】 ECTS*4	【ラテンアメリカ】 CLAR*4	【英国】 CATS
単位換算	1 credit point	≒ 1 credit	≒ 1.5 ECTS	≒ 1.5 CLAR	≒ 3 credits
学生の学修量	38-48 hours *3	≒ 45 hours *3	37.5-45 hours	37.5-45 hours	Converted from ECTS ECTS から換算 (30 CATS hours)
授業時間数 (学術的規則上の 1 時間若しくは単位時間を単位とする)	13-16 *3	≒ 15-16 *3	-----	-----	-----

*1: アジア学術単位 (AACs) は、堀田他 (2010) による『ACTS(ASEAN Credit Transfer System)と各国の単位互換に関する調査研究』に基づいたアジアの学術界に存在する単位(互換)制度を包括的に理解するための仮の概念である。

*2: AUN の ACTS スキームの中で、協定大学は、合意された「全ての提案されたコース/科目の学習成果」と学習合意文書に基づき、学生の単位互換を行う。

*3: 学修量には、教室での授業時間数と自習時間が含まれている。

*4: 1ECTS=1CLAR=25~30 時間の学修量

参考2: 交換留学生用成績証明書 (例)

項目1: 成績証明書所持者についての情報

1. 氏名	2. 生年月日
Asia Anne GREEN	2000/7/23
3. 学生の教育段階	4. 派遣元大学名及び国名
学部生	東南アジア大学、タイ

項目2: 派遣先大学での学習プログラムについての情報

1. 派遣先大学名及び国名	2. 派遣先の学部・学科・専攻名
APT大学、フィリピン	経済学部
3. 派遣先大学での学籍番号	4. 履修プログラム名
AG1122023	APT大学と東南アジア大学との間の大学間交流協定に基づく交換留学プログラム
5. プログラムの期間	6. 講義での使用言語
2016/6/14~10/14 (1学期)	英語

項目3: 内容と得られた結果に関する情報

1. コース名	2. 種類	3. 評価	4. 単位数	学期/期間
マクロ経済 (必修)	講義	A+	3	1学期
アジア経済史 (必修)	講義	B	3	
国際化と教育 (選択)	講義	A	3	

※ 2016/2017 学年歴 1学期 2016/6/14~2016/10/14
 2016/2017 学年歴 2学期 2016/12/14~2017/4/14

この項目に記載される情報は、各国の法令等に基づき変更可能

項目4: 単位制度と成績評価の方法

1. 学修量	2. 授業/学習時間数
学修量は、1単位につき48時間 (比率 講義1: 自習2) ※これは国の規則で定められている	授業時間は、1単位につき16時間 ※これは国の規則で定められている
3. 成績評価の方法と合格/不合格の明確な基準	
A: 秀 90-100%、B+: 優 80-89%、B: 良 70-79%、C+: 可上 60-69%、C: 可 50-59%、F: 不可 50%以下	
4. 単位互換制度	
UMAP単位互換方式	
5. その他	
特になし	

項目5：追加情報（該当する場合）

1. 学習成果
別添、コース／科目のシラバスを参照のこと ※シラバスが使用できない場合 [アジア経済史] アジア経済発展の軌道を理解する。経済理論の適用して、アジアの経済成長の源泉を理解する。
2. インターンシップの経験
2016年7月から2か月間、週に1回、マイクロファイナンス機構でインターンシップを実施。
3. 奨学金
2016年10月にAPT大学から300USDの最優秀学生（学期）奨学金を受賞した。
4. 派遣先大学の種類
私立大学
5. 派遣先大学の認証評価状況に関する情報
APT大学は2015年4月にフィリピンの国立認証機関から認証を受けた。
6. その他
2016年9月には、週に1回、「こどものための国際援助」と協力してボランティア活動を行った。

項目6：成績証明書の公的証明

日付

署名

2017/8/15

Plums Asean

Plums Asean

Dean of the Department of Economics

公印



APT大学

住所：20 Angela Blvd.Metro, Manila, Philippines

Tel：+63(0)2-567-8910

※この書類は、学籍担当職員、学部長、又は事務局長の署名及び、機関の公印がない限り有効ではない。

参考3 : 派遣先大学での開講コース／科目のシラバス例

コース名: 国際化と教育 / ジョン・グリーン	
<p>コースの目的 / 概要</p> <p>本コースは、フィリピンの国内外における学校教育の現状、特に教育分野における国際化の影響のもとでの現状について、理解を深めることを目的とする。持続可能な社会の推進と実現に教育がどのように貢献できるかについて特に注目しつつ、学校教育について理論的、制度的、実践的な側面から議論を行う。</p> <p>*キーワード: 国際化、持続可能な開発のための教育 (ESD)、学校教育</p>	
国際化と教育	
学期	第1学期
開講時限	火曜日1限目、金曜日2限目
単位数	3単位
対象年次	2、3年次
他学部生の受講の可否	可
教室	A棟 / 201号室
講義言語	英語
授業形態	講義
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本コースの紹介 2. 国際化と教育 3. 国際教育ネットワークと言説 4. 教育の国際モデルと国際機関 5. 持続可能な開発のための教育(ESD) 6. 現地における教育の背景と人々の国際的な流動性 7. まとめ
授業方法	各学生は課題図書を選択しクラスで発表を行う。発表を基に、課題図書で挙げられている諸問題に関する議論を行う。また、各学生は予習としてそれぞれの課題図書に関する小論文を執筆する。
評価方法	最終レポート (30%)、教室での発表 (30%)、課題図書に関する小論文 (20%)、教室での議論への参加・貢献度 (20%)
必須教科書	Chris Smith (2011) Globalization of Education. Kuala Lumpur: Future
参考文献	講義内で指示
受講にあたっての留意点	議論への積極的な参加が期待される。
コースに関するホームページ	https://u-apt.ac.ph/en/index.html
その他	受講前にコースに関するホームページを確認すること。
研究室連絡先	+63-90-1234-5678
E-mail アドレス	johngreen@u-apt.ac.ph